



ウィジェットを利用する

iPhoneでは、ニュースや天気など、さまざまなカテゴリの情報をウィジェットで確認することができます。ウィジェットの順番は入れ替えることができるので、好みに合わせて設定しましょう。

1 ウィジェットで情報を確認する

- ① ホーム画面を何回か右方向にスワイプします。



- ② 「今日の表示」画面が表示され、ウィジェットが一覧表示されます。画面を上方向にスワイプします。



- ③ 下部のウィジェットが表示されます。画面を左方向にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。



MEMO ロック画面から表示する

ロック画面を右方向にスワイプすることでも、「今日の表示」画面を表示することができます。



2 ウィジェットを追加／削除する

- ① P.24手順③の画面で、下部の「編集」をタップします。



- ② 画面左上の「+」をタップします。



- ③ 追加したいウィジェット（ここでは「時計」）をタップします。



- ④ 画面を左右にスワイプして、ウィジェットの大きさを選び、「ウィジェットを追加」をタップします。



- ⑤ ウィジェットが追加されます。ウィジェットを削除する場合は「-」→「削除」の順にタップします。画面右上の「完了」をタップすると、編集が終了します。



MEMO ウィジェットをホーム画面に追加する

ウィジェットはホーム画面にも追加できます。詳しくは、P.228を参照してください。



留守番電話を確認する

留守番電話は、ロック画面や「電話」アプリで確認できます。留守番電話を利用するには、「お留守番サービスEX」(有料)もしくは「電話きほんパック」(有料)に加入しておく必要があります。

留守番電話を聞く

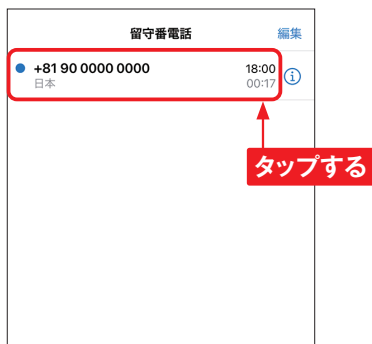
- 1 ホーム画面を表示し、をタップします。



- 2 「留守番電話」をタップします。



- 3 留守番電話を聞きたい相手の連絡先をタップします。



- 4 をタップすると、保存されたメッセージを聴くことができます。

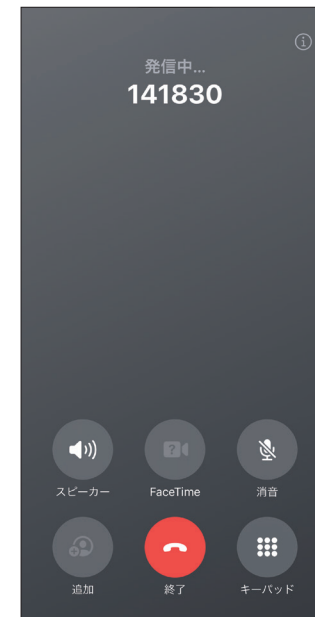


留守番電話の呼び出し時間を設定する

- 1 P.40手順①～②を参考に「電話」アプリの「キーパッド」画面を表示し、「1418」と入力し、さらに留守番電話の呼び出し秒数(5～55秒。ここでは「30」)を入力して、をタップします。



- 2 設定が完了すると、音声案内で「設定を承りました」とアナウンスされ、通話が終了します。なお、初期状態では24秒に設定されています。



MEMO

電話きほんパックで便利に利用する

auのiPhoneで留守番電話を利用するには、オプションサービスの「お留守番サービスEX」(有料)への加入が必須となります。auではこのサービスのほか、「迷惑電話撃退サービス」(有料)、「三者通話サービス」(有料)の3つのサービスをセットとしている「電話きほんパック」を有料で用意しています(「割込通話」(有料)もセットにした「電話きほんパック(V)」も用意されています)。「お留守番サービスEX」へ加入するのであれば、こちらを検討してみるのもよいでしょう。

お留守番サービスEX (有料)

迷惑電話撃退サービス (有料)

三者通話サービス (有料)

上記3サービスのセット
「電話きほんパック」(有料)



Apple IDに 支払い情報を登録する

iPhoneでアプリを購入したり、音楽・動画を購入したりするには、Apple IDに支払い情報を設定します。支払い方法は、クレジットカード、キャリア決済などから選べます。

Apple IDにクレジットカードを登録する

① ホーム画面で[設定]をタップします。



② 自分の名前をタップします。



③ [お支払いと配送先] をタップします。



④ [クレジット/デビットカード] にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合はタップしてチェックを付けます。



⑤ カード番号、有効期限、セキュリティコードを入力したら、「請求先住所」の自分の名前をタップします。



⑥ 請求先氏名を入力します。



⑦ 請求先住所を入力し、[完了] をタップします。



MEMO クレジットカードを 持っていない場合

クレジットカードを持っていない場合は、キャリア決済やApple Gift Cardを利用できます。Apple Gift Cardを利用する場合は、ホーム画面で [App Store] をタップし、👤→ [ギフトカードまたはコードを使う] の順にタップして、画面に従ってコードを登録します。



iMessageの 便利な機能を使う

「メッセージ」アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。

メッセージで利用できる機能

メッセージでは、iMessageに対応したアプリやメッセージ効果を利用して、メッセージを装飾することができます。

● 主な機能



1 写真を撮影して送信できます (P.92参照)。

2 メッセージに写真や動画を添付できます (P.91参照)。

3 ステッカーを送信できます。

4 メッセージに音声を添付できます。

5 位置情報を送信できます (P.89参照)。

6 iMessage対応アプリをダウンロード可能な「ストア」、GIF画像の検索と送信が可能な「#画像」、タップやスケッチなど動きの送信が可能な「Digital Touch」、ミー文字の作成と送信が可能な「ミー文字」、「ミュージック」アプリ (Sec.32～33参照) で最近聴いた曲の共有が可能な「ミュージック」、目的地に無事に到着したことを家族や友人に知らせる「到着確認」を利用できます。

● メッセージに効果を加える



メッセージを入力し、↑をタッチするとエフェクトが表示されます。エフェクトには、「吹き出し」と「スクリーン」の2タイプがあります。

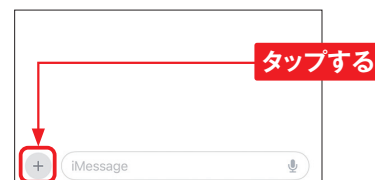
● 手書きメッセージを送信する



iPhoneを横向きにしてキーボードの🖋️をタップすると、手書き文字の入力画面になります。画面をなぞることで文字を書けます。

位置情報をメッセージで送信する

1 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、+をタップします。



2 [位置情報] をタップします。位置情報に関する項目が表示されたら [アプリの使用中は許可] をタップして、「メッセージ」アプリの使用を許可します (P.76MEMO参照)。



3 [共有] をタップし、任意の共有時間帯をタップします。



4 ↑をタップすると、位置情報が送信されます。タップすると、「現在地」画面が表示され、そこで地図をタップすると、全画面で地図が表示され、より詳細に周辺の地図を確認することができます。また、画面上部の相手の名前または電話番号をタップし、[位置情報をリクエスト] をタップすると、相手の位置情報を求めるメッセージを送信できます。



MEMO リアクションを送る

相手のメッセージをタッチすると、上部にTapbackが現れます。リアクションのアイコンをタップして送信します。





プロフィールを作成する

Safariでは、「仕事」や「趣味」などのテーマごとにプロフィールを作成し、用途に応じて切り替えることができます。プロフィールの設定により、お気に入りや閲覧履歴、タブグループの分類が可能となります。

プロフィールを作成する

- 1 ホーム画面で[設定]をタップします。



- 2 [Safari] をタップします。



- 3 [新規プロフィール] をタップします。



- 4 「名前とアイコン」「設定」をそれぞれ設定し、[完了] をタップします。



プロフィールを切り替える

- 1 Safariを起動した状態で、ツールバーの[📄]をタップします。



- 2 👤をタップします。



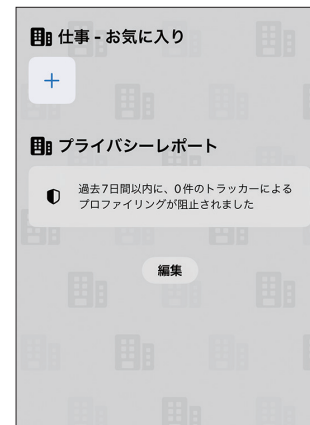
- 3 [プロフィール] をタップし、切り替えたいプロフィールをタップします。なお、「個人用」はプロフィールを作成すると自動で追加されます。



- 4 初回はスタートページが表示されません。画面に表示されているタブ、または画面右下の[完了]をタップします。



- 5 プロフィールが切り替わります。





動画を撮影する

iPhoneの動画撮影では、さまざまな機能が用意されています。「アクションモード」や「シネマティックモード」などを利用することで、映画のような本格的な動画撮影も可能です。

6 動画を撮影する

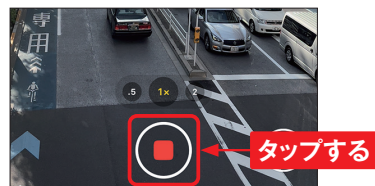
- ① ホーム画面で「カメラ」をタップし、カメラを起動します。カメラモードが「写真」になっているときは、画面を右方向に1回スワイプし、「ビデオ」に切り替えます。



- ② ●をタップして撮影を開始します。撮影中は画面上部の撮影時間が赤く表示されます。撮影中にピンチすると、ズームイン/アウトできます。

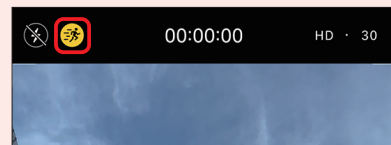


- ③ ●をタップすると、動画の撮影を終了します。撮影した動画を確認するには、画面左下に表示されるサムネイルをタップします。



MEMO アクションモードを利用する

歩きながら撮影する場合は、手ぶれ補正してくれる「アクションモード」が便利です。手順②で画面左上の📷をタップすると、アクションモードが利用できるようになります。なお、アクションモードで撮影できる解像度は最大2.8Kです。



シネマティックモードで撮影をする

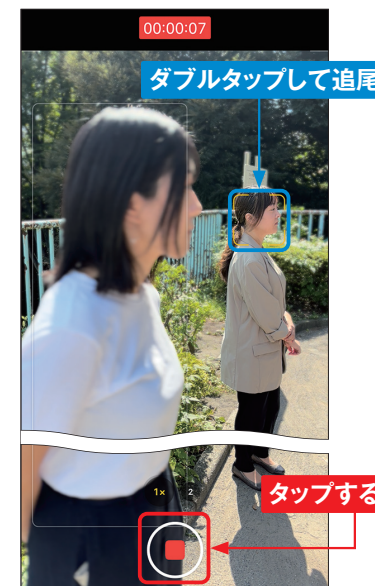
- ① ホーム画面で「カメラ」をタップし、「シネマティック」までスワイプします。「シネマティックビデオ」画面が表示されたら、「続ける」をタップします。



- ② ●をタップすると、撮影を開始します。人物をタップすると、その人物にピントが合います。



- ③ 別の人物をタップすると、その人物にピントが合います。人物をダブルタップすると、その人物にピントが合い続け自動追尾します。●をタップすると、撮影が終了します。



MEMO シネマティックモード

シネマティックモードでは、動画撮影の際に被写体の動きを認識し、自動で被写体にピントを合わせ、周囲をぼかすことができます。さらに、被写体の動きを認識して自動で追従したり、人物が顔を向けた方向にピントの対象を変更したりする機能があります。また、撮影後の編集で、ぼかしの度合いやピントの対象を変えることもできます (P.163参照)。



地図を利用する

iPhoneでは、位置情報を取得して現在地周辺の地図を表示できます。地図の表示方法も航空写真を合わせたものなどに変更して利用できます。

現在地周辺の地図を見る

- ホーム画面で「マップ」をタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



- 現在地が表示されていない場合は、📍をタップします。



- 現在地が青色の点で表示されます。地図を拡大表示したいときは、拡大したい場所を中心にピンチオープンします。画面の範囲外を見たいときは、ドラッグすると地図を移動できます。



MEMO 3Dマップ

地図画面を2本指で上方向にドラッグすると、3Dマップが表示されます。[2D] をタップすると、もとの表示に戻ります。



地図を利用する

- 表示方法を切り替える

- 📍をタップします（アイコンは表示中の地図によって変化します）。



- 「航空写真」をタップします。



- 地図情報と航空写真を重ねた画面が表示されます。もとに戻す場合は、手順②の画面を表示して、「詳細マップ」をタップします。



- 建物の情報を表示する

- 建物やお店の名称をタップします。



- 建物やお店の名称、写真などが表示されます。表示部分を上方向にスワイプすると、詳細な情報が表示されます。✕をタップすると、表示が消えます。



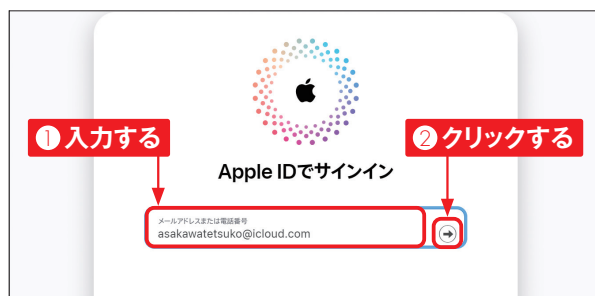
iPhoneを探す



iCloudの「探す」機能で、iPhoneから警告音を鳴らしたり、遠隔操作でパスコードを設定したり、メッセージを表示したりすることができます。万が一に備えて、確認しておきましょう。

🔊 iPhoneから警告音を鳴らす

- ① パソコンのWebブラウザでiCloud (<https://www.icloud.com/>) にアクセスし、[サインイン] をクリックします。iPhoneに設定しているApple IDを入力し、➡️をクリックします。



- ② [パスワードで続行] をクリックし、パスワードを入力し、➡️をクリックします。



- ③ [デバイスを探す] をクリックします。



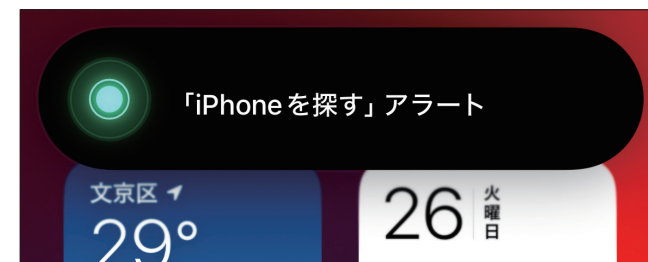
- ④ iPhoneの位置が円で表示されます。「あなたのデバイス」のデバイスをクリックします。



- ⑤ [サウンド再生] をクリックすると、iPhoneから警告音が鳴ります。



- ⑥ iPhoneの画面にメッセージが表示されます。



MEMO 最後の位置情報を送信する

iPhoneの「探す」機能は、標準でオンになっています。[設定] → 自分の名前 → [探す] → [iPhoneを探す] の順にタップして「最後の位置情報を送信」をオンにすると、バッテリーが切れる少し前に、iPhoneの位置情報が自動で、Appleのサーバーに送信されます。そのためバッテリーがなくなって電源がオフになる寸前に、iPhoneがどこにあったかを知ることができます。また、「探すネットワーク」をオンにすると、オフラインのiPhoneを探すことができ、電源オフになっていたり（最大24時間）、データが消去されてしまったりした端末でも探せます。

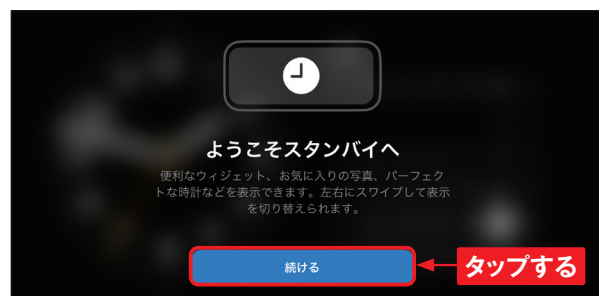


スタンバイを利用する

iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定すると、ロック画面の代わりにスタンバイが表示されます。iPhone 15 Pro / Pro Maxでは、「常にオン」画面が使えるので、充電中にいつでも時計やウィジェットを確認できます。

スタンバイの表示を切り替える

- 1 iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定します。iPhone 15 / Plusの場合は、ロック画面をタップします。初回に「ようこそスタンバイへ」画面が表示されたら、「続ける」をタップします。



- 2 ウィジェットのスタンバイが表示されます。画面を左右にスワイプすると、スタンバイを「ウィジェット」「写真」「時計」に切り替えることができます。

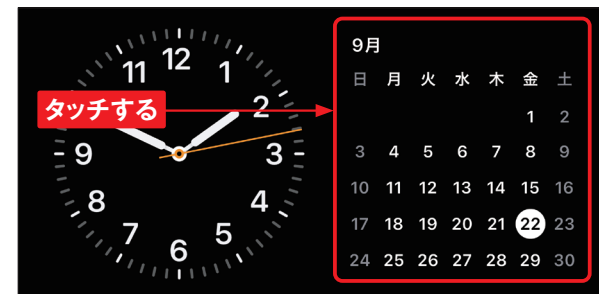


- 3 画面を上下にスワイプすると、ウィジェットの切り替えや時計のデザインを切り替えることができます。



ウィジェットを追加する

- 1 ウィジェットのスタンバイを表示した状態で左右どちらかのウィジェットをタッチします。



- 2 画面左上の「+」をタップし、追加したいウィジェット（ここでは[News]）をタップし、「ウィジェットを追加」をタップします。



- 3 画面右上の「完了」をタップすると、追加したウィジェットが表示されます。



MEMO iPhone 15 Pro / Pro Maxで「常にオン」をオフにする

iPhone 15 Pro / Pro Maxでは、ロック画面を表示したままにできる「常にオン」が初期状態でオンになっています。そのため、スリープ中でも画面に情報が表示されます。設定をオフにする場合は、ホーム画面で[設定] → [スタンバイ]の順にタップし、「常にオン」をオフにします。



バックアップから復元する

iPhoneの初期設定のときに、iCloudへバックアップ（Sec.53参照）したデータから復元して、iPhoneを利用することができます。ほかのiPhoneからの機種変更のときや、初期化したときなどに便利です。

バックアップから復元されるデータ

古いiPhoneから機種変更をしたときや、初期化を行ったときには、iCloudへバックアップしたデータの復元が可能です。写真や動画、各種設定などが復元され、App Storeでインストールしたアプリは自動的にダウンロードとインストールが行われます。なお、アプリのデータは個別に移行や復元が必要となります。

● 写真・動画



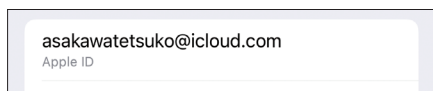
過去に撮影した写真や動画は、iCloudのバックアップから復元されます。

● アプリ



初期化する前にインストールしたアプリが再インストールされ、ホーム画面の配置が復元されます。

● 設定



各種設定やメッセージなども復元されます。

MEMO 機種変更時などの iCloudストレージ一時利用

機種変更や初期化の際に、利用できるiCloudの容量を超えて一時的にバックアップを作成することができます。このバックアップを利用するには、iPhone 15以前のモデルでは、iOS 17にアップデートして、P.283手順③の画面で、「開始」をタップし、画面の指示に従って操作します。バックアップの保存期間は基本21日間です。

🔌 iCloudバックアップから復元する

- 1 iPhoneの初期設定を進めると、「アプリとデータを転送」画面が表示されるので、「iCloudバックアップから」をタップします。



- 2 iCloudにバックアップしているApple IDへサインインします。Apple IDを入力し、「continue」をタップします。



- 3 パスワードを入力し、「continue」をタップします。



- 4 「利用規約」画面が表示されます。よく読み、問題がなければ「同意する」をタップします。



- 5 古いパスワードの入力を求められた場合は、バックアップを作成したときのiPhoneのパスワードを入力します。「iCloudバックアップを選択」画面が表示されます。復元したいバックアップをタップします。画面の指示に従って初期設定を進めると、復元が開始され、iPhoneが再起動します。



- 6 再起動が終わるとロック画面が表示されます。上方向にスワイプしてパスワードを入力しロックを解除すると、ホーム画面が表示されます。

